

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2023年9月29日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

健康保険証を残して！ 世論、署名を広がる

標茶町議会・安平町議会・北広島市議会 国への意見書採択

マイナ保険証のトラブルが続いています。同時に、健康保険証の廃止(来年秋:24年12月8日まで)に対する不安や怒りが強まり、健康保険証を残しての世論と運動が広がっています。

高齢者の「負担割合」違いなどトラブル発生 受付業務増も 道保険医会

保団連は、7・8月に行った第2弾「マイナ保険証・オンライン資格確認トラブル調査」結果を9月に公表しました。北海道からは135の医療機関(病院5・医科診療所64・歯科診療所65)が回答しました。

●70歳以上の高齢者でオンライン資格確認の画面の「負担割合」と健康保険証の券面の「負担割合」に相違が「あった」と23の医療機関が回答しました。

●マイナ保険証の患者への対応で、新たに受付業務について、「増えた」が117件(86.7%)でした。その内訳は、「患者への説明」(109件)、「カードリーダー機器の補助」(92件)、「資格の確認作業」(71件)、「エラー時のベンダー(販売業者)との対応」(47件)、「公費医療(子ども医療費、生活保護等)の確認・入力作業」(42件)などです。

健康保険証を残して署名、続々集まる！ 不安や怒りも

各団体が「健康保険証を残して」署名に取り組んでいます。一点署名の反応はよく、署名が続々集まっています。

道民医連は、署名付きハガキ(「私の一言」欄付き)も作成して、患者さんや友の会や医療機関などに呼びかけ、署名が続々集まっています。

「私の一言」欄には、健康保険証の廃止に対する不安や継続を求める切実な要望が記載されています。その一部を紹介します。



認知症の夫は申請できません

夫は認知症のため、要介護4。この春大腿骨骨折のため介護施設の入所、車イス生活になりました。字も書けませんし、話すこともできません。マイナンバーカードの申請もできません。私もしていません。国の考えがよくわかりません。

今の保険証で不便ではありません

なんの不便さも感じていない状況の中で、このまま保険証が使える事を望んでいます。たくさんのトラブルが報道されているこの制度は廃止してほしいと思っています。とにかく不安を感じています。

高齢者は分かりません。手続きを簡単に

- ・マイナンバー 高齢者には全然わかりません。
- ・私達の一番大事な保険証。むずかしいのでなく簡単に手続きができる方法を残してほしい！

強制はやめてください

マイナンバーカードは強制するものではないといいつつ実際は強制以外の何物でもありません。国民に都合の悪い事は隠して不便な保険証廃止は絶対にやめてほしい！！

情報漏れが心配

マイナンバーで個人情報の集約に反対する。情報漏れの時、「遺憾である、お詫び申し上げます」で終わりだろう。

命が脅かされる

健康保険証が廃止されれば国民皆保険制度の下での不平等が起きる結果となりかねず不安です。国民の命が脅かされることは許されません。

5年ごと更新、トラブル必至

マイナカードは5年に一度更新しなければなりません。そこでトラブルが起きれば大変危険です。

道内でも 地方議会で 健康保険証の存続求める「国への意見書」を採択！

道内でも地方議会で、健康保険証の存続を求める国への意見書が採択されています。9月6日に標茶町議会で、21日に安平町議会、28日には北広島市議会で採択されました。

北広島市では、北広島生活と健康を守る会、新日本婦人の会北広島支部、全日本年金者組合北広島支部が請願した「『健康保険証の存続を求める意見書』採択に関する請願」と、北広島市の市民(医師)が請願した「従来健康保険証の存続を求める請願」の二つの請願が採択されました。